

土浦市立 右舂小学校 (小中一貫校) 学校だより	  	令和5年度 第1号 2023.4.14 文責：後藤和広
-----------------------------------	--	--------------------------------------

新年度がスタートして、1週間が過ぎました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、そして進級、誠におめでとうございます。261名の大切な子どもたちと共に、魅力ある学校作りに邁進していく所存です。学校便りやホームページ等で教育活動の情報を積極的に発信し、家庭や地域との連携を図って参ります。

今後も、保護者の皆様や地域の方々のご協力をいただきながら、土浦六中と大岩田小と連携を図り、健全な子どもの育成に努めて参ります。そして、右舂小学校を土浦市で一番の学校にしたいと思っておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

右舂小学校長 中山 弘

新年度「2023 チーム右舂」職員を紹介いたします

校長	中山 弘	教頭	後藤 和広
教務主任	小島 美浦子	専科教員	田口 修二
1年1組	宮本 秀樹	養護教諭	橋本 由記
1年2組	福島 さえこ	新採指導員	寺田 美代
2年1組	瀧澤 美喜	主事	稲生 名穂子
2年副担任	及川 葉月	管理員	池田 雅美
3年1組	松本 久美子	図書館司書	中村 千春
3年2組	加藤 拓実	特支支援員	高橋 裕子
4年1組	中島 薫	特支支援員	高中 啓子
4年2組	高橋 拓巳	理科支援員	船木 昭芳
5年1組	塚原 弘子	A L T	ジェイ・マナロ
5年2組	海老澤 祐花	給食配膳員	野村 美奈子
5年副担任	松崎 由子	スクールサポートスタッフ	仙田 政直
6年1組	毛利 康孝	学校サポーター	福田 香代
わかくさ	露木 明		
たんぽぽ	明星 令子		
ひまわり	松浦 弘子		

◎職員一同、右舂小の子どもたちの成長のため、精一杯、力を注いでいく所存です。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



職員の転退職並びに異動のお知らせ

令和4年度末及び令和5年度始めの定期人事異動により、下記の職員が転出・退職・転入



となりましたのでお知らせいたします。

○転出・退職	
教 頭	串山 忍 神栖市立神栖第一中学校へ
拠点校指導員	大森 美幸 土浦市立都和中学校へ
支援員	澤 景子 土浦市立土浦第三中学校へ
理科支援員	吉田 敏 土浦市立荒川沖小学校へ
給食配膳員	長谷川美智子 退職

○転入	
教 頭	後藤 和広 土浦市立土浦第四中学校より
教 諭	毛利 康孝 小美玉市立玉里義務教育学校より
教 諭	高橋 拓巳 新規採用
教 諭	田口 修二 土浦市立真鍋小学校より
講 師	寺田 美代 土浦市立真鍋小学校より
理科支援員	船木 昭芳 新規採用
給食配膳員	野村美奈子 土浦市立中村小学校より

《 校 訓 》

なかよく

かしこく

たくましく

輝け、右舩の子供たち
夢のある学校・元気のある学校の実現へ
子どもが夢と希望を持ち、活き活きと育つ学校へ

《 組 織 目 標 》

誰一人取り残すことなく自分の力を最大限に発揮し伸ばしていく、
質の高い学びを実現する。

～ 働き方改革の推進による効果的な教育活動の展開 ～

《 学 校 経 営 の 理 念 》

全ての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
活力があり、児童、保護者、地域が土浦で一番幸せな学校を目指す
～ 社会に開かれた教育課程の実現 ～

確かな学力を育みます



- 1 互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮できる学級学校づくりを目指します。
- 2 毎時間の目標を明確にし、達成感のある授業展開に努めます。
- 3 1人1台端末の活用等による個別最適な学び、協働的な学びを充実し、GIGAスクール構想の実現に努めます。
- 4 保幼小中の円滑な接続のためのカリキュラムを充実させ、目指す資質・能力の共有を図ります。



コンパクトな学校のメリットを最大限に生かす

- 自分の力を試す機会が多くなる
- 個人の影響力が大きくなる
- 自己有用感が高まる
- 人間関係が密になる
- 機能的で時間の無駄がなくなる
- 教育活動を地域に開きやすくなる



豊かな人間性を育みます

- 1 様々な体験や道徳の学習を通して心の動きを振り返らせ、正しい心を育てます。
- 2 道徳科における「考え、議論する道徳」への質的転換を図り、豊かな心と将来への夢を育む教育の推進に努めます。
- 3 あいさつや時間の厳守、無言清掃の徹底など焦点を絞った指導を通して、規律ある学校生活を送らせます。
- 4 縦割り班活動などの協働を通して思いやりの心や感謝の心を育てます。

たくましい心身を育みます

- 1 基本的な生活習慣を身に付け、休まず、毎日元気に学校生活を送る児童を育てます。
- 2 自分の体力に関心を持たせるとともに外遊びや持久走、なわとびなどを奨励し、粘り強い心や体力の向上を図ります。
- 3 体育の授業や体育的行事を工夫し、運動することの楽しさや達成感を味わわせます。
- 4 「錬磨 精鋭 右小」をキーワードに、教育活動のモチベーションを高めるとともに、一人一人に自己有用感を味わわせます。